



安方中だより

令和8年2月12日 第4号

大田区立安方中学校

「志あれば」

校長 佐藤 彰

以前、新聞を読んでいて、ラグビー日本代表の主将も務めた姫野和樹さんに関する記事を読んで、とても感銘を受けました。今回は、それを要約しながら紹介したいと思います。

姫野さんは幼い頃、名古屋市の古い木造アパートの6畳2間に両親と姉、妹の5人で生活していました。ゴキブリやネズミがよく出るような家で、給食費が払えずに何ヵ月も滞納し、子どもながらに「うちは貧乏なんだ」と感じていました。親は働いていましたが、稼いだ金はパチンコで消えてしまうこともあり、両親はよくお金のことでけんかをしていました。家に帰りたくなくて、アパートの階段や公園で深夜まで月を眺めていることも多かった。大きな一軒家やきれいなマンションに住んでいる友達に家を知られたくなくて、わざと遠回りして家に帰ったこともあります。「なんで普通の家じゃないんだろう?」。いつもそう思っていました。

スポーツをしたくても、野球はバットやグローブが必要で、サッカーもスパイクがいる。はやりのゲームやおもちゃは買ってもらえないので、毎日のように神社の境内や公園で友達と駆け回って遊んでいました。

ラグビーと出会ったのは中学校の時です。入学当時、すでに身長が170cmあり、ラグビー部の監督が注目して声をかけてくれたのです。サッカーは相手に接触すると反則になりますが、ラグビーは相手を突き飛ばしたら褒められる。すぐにのめりこみ、県選抜チームからも声がかかるようになりました。

一度だけ、「もう死んで楽になろう」と考えたことがあります。中学生の頃、滞納していたお金を学校に持って行った時、僕が無くしてしまったのです。薄給の親が工面してくれた大事なお金を無くして、自分ではどうすることもできなくて、死のうと思って台所の包丁を手にしました。その時、友達の顔が思い浮かびました。肉まんやアイスをはんぶんこして食べたことや公園でくだらない話をした時間。お金は無かったけど、楽しかった思い出がよみがえり、踏みとどまれたのだと思います。

こうした家庭環境を考えれば非行に走りそうですが、僕はラグビーに救われました。シューズは親指のところに穴が開いていて、ジャージもボロボロでしたが、練習に打ち込んでいると家のことも忘れられました。ラグビーは、試合終了の合図とともに敵も味方も関係なく健闘をたたえ合う、ノーサイドの精神や礼節を大事にします。そのことが自分の人間性を育ててくれたと感じています。ラグビー部の顧問やまわりの大人たちにも支えられました。高校は強豪校から誘いがありましたが、学費が免除になるには推薦で合格しなければなりません。苦手だった勉強も頑張り、学校の先生方が「授業中に寝たらダメだ」、「小テストは頑張ろう」と励ましてくれて、何とか推薦で合格することができました。

高校では、赤点を連発する僕を見かねた顧問の先生が、自宅で遅くまで個別指導をしてくれました。合宿費を払えない時には、先生が立て替えてくれました。僕が、苦しいながらも現実から逃げずに済んだのは、指導者に恵まれたからです。

小学校の頃は、近所の駄菓子屋のおばちゃんにも助けられました。店のおばちゃんと対戦して、ベーゴマで勝ったら10円券、けん玉で勝ったら20円券をもらってお菓자에替



【姫野和樹選手】

えることができました。僕の家が貧しいことを知っていて、おばちゃんが気を遣ってくれたのだと思います。

高校卒業後は強豪・帝京大学に進学しました。学費は免除され奨学金を受けていましたが、合宿費が出せずに監督に借りたこともあります。「この生活から抜け出してやる」。そう思って練習に励んでいました。その後、トヨタのチームに所属し、今は主将を務めています。自分で稼げるようになり、ようやく貧しい暮らしを抜け出せたと思えるようになりました。ただ、安定した生活が得られた今でも、「100円の重み」を忘れたくなくて、家計簿をつけています。子どもの頃に感じていたお金のありがたみを忘れないようにしたいからです。僕はラグビーに助けられました。中学校の顧問の先生から言われた「心を鍛えて、常に一流であれ」という言葉を、今も胸に刻んでいます。

プロのラグビー選手になって、回らないお寿司やでっかいステーキを食べられるようになった今も、子どもの頃に友達が半分くれた肉まんやアイスより美味しいものは、食べたことはありません。あれは、「優しさのかたまり」でできていて、大人では出会うことのできない味だからです。

「1年生社会科見学（鎌倉）」

1年生は1月30日（金）に鎌倉方面への社会科見学を行いました。当日は太陽の日差しが暖かく、穏やかな一日でした。混雑を予想していましたが、小町通りも含め予想よりも人が少なく、班行動に大きな影響はありませんでした。

今回は10月の移動教室とは違い、班ごとに行動計画を立てました。見学場所は4か所。昼食場所は「味亭」。生徒からは、「どの名物を食べるか」、「どんなお土産を買うか」という、ワクワクが伝わってきました。当日は、蒲田駅でチェックを受けて班行動を開始。初めて横須賀線に乗る生徒もいましたが、班で協力して無事に鎌倉駅に到着。移動や見学に時間がかかるなど、予定変更はありましたが、きちんと本部に連絡ができました。大きなトラブルもなく、時間やルールを守って行動ができました。実行委員、班長、それぞれの係が自分の仕事をし、全員の意識が高かった結果の表われです。これが、2年生での社会科見学、3年生での修学旅行につながり、さらに自立・自律した行動ができることを期待しています。



【鎌倉での様子】

「表彰」おめでとう！

【ものづくり教育・学習フォーラム】

◎ものづくり競技会

城戸 大護さん 『アイディア賞』

白石 楓さん 『アイディア賞』



◎優秀作品

斉藤 好花さん 真鍋 夏彩さん 吉野 果暖さん

古賀 百恵さん 萩原 心美さん 水野 花純さん



【卓球部】

◎令和7年度大田区卓球連盟選手権大会

○ベスト8 岡田 温さん 鎌田 夏逢さん

○ベスト16 神田 和直さん

